

安全ニュース

2020年9月号

令和 2年 9月 1日
千代田運輸株式会社
CHIYODA
安全管理部 発行
(No.363号)

令和 2年8月 発生事故

◆ 8月中～事故「0」達成！

今年是全国的に梅雨明けが遅く、梅雨明け後は連日の猛暑に加え、コロナ対策のマスク着用等、今までに経験したことのない厳しい夏となりました。その中の無事故・無災害達成は大変意義のあることだと思います。引き続き、安全輸送にご協力をお願いいたします。

秋の交通安全強化月間の実施

9月1日(火)～9月30日(水)の間【1か月間】

日本陸送協会・千代田グループ統一標語
「運転の 自信と過信 事故のもと」(ポスター標語)



この月間は、日本陸送協会と千代田グループが協賛で実施するものです。活動重点は、「車間距離保持の徹底」と、「指差呼称の徹底」、「フォークリフト基本作業の徹底」です。なお、期間中の9月21日から30日までの間は、秋の全国交通安全運動も実施されます。事故防止の基本は安全確認です。ミラーやモニターだけに頼らず、目視での確認を確実に実施し、各種事故を防止しましょう。

アルコールが運転に与える影響

アルコールが人体に及ぼす影響は、「中枢神経が麻痺する」「視力が落ち視野が狭くなる」「平衡感覚が狂う」等、自動車の運転に大きく支障をきたすものばかりです。そして、体内に入ったアルコールはすぐには抜けず、体重60キログラムの男性が500ミリリットルの缶ビール1本を飲んだ場合、アルコールが分解されるまでには3～4時間かかるとされています。

また、飲酒後、睡眠をとったり入浴をしたとしても、体内のアルコールが早く抜けることはありません。

忘れてならないのは、「飲酒運転は重大事故に直結する非常に危険な行為であり、犯罪である」という事です。

※ 酒を飲ませた人・車を貸した人・同乗した人にも厳しい罰則があります。

酒飲んで
ハンドル握る その先は
破滅に続く 一本道



ドラレコ評価 高得点者ランキング (8月中)

平均71点、80点以上95名、49点以下19名

- 1位 東西配送(株) 内田 宏晃さん(99点)
- 2位 丸一ロジテック(株) 荒井 宏明さん(97点)
- 3位 丸一ロジテック(株) 岩上 剛隆さん(97点)
- 4位 東西配送(株) 長谷川 信一さん(97点)
- 5位 東西配送(株) 佐々木 和哉さん(97点)



※ 走行距離が月間1,000km以上の方を対象とし、同点数の場合は走行距離数が長い乗務員を上位とします。

私の交通安全

(株) 正栄輸送 大松澤 達也さん(陸送)



- Q 安全運転の心構えを教えてください。
A 車間距離と、右左折時の速度・安全確認を常に意識しています。また、信号の変わり目は特に危険なので、歩行者用信号を確認して、安全に止まれるように心掛けています。
- Q 趣味や休日の過ごし方を教えてください。
A アウトドア、キャンプ歴は長く、ノウハウには自信があります。今年はコロナ禍のため、外出を控え、自宅で庭木いじりを楽しんでいます。
- Q プチ自慢やアピールポイントがあれば教えてください。
A スキーとスノーボードに関しては、同年代の人達には負けない自負があります。
- Q ご自身の長所・短所等、性格を自己分析してください。
A 若い時は、人より先に先にとせっかちな性格だった自覚がありますが、最近では歳のせい、「お先にどうぞ」と、穏やかな性格に変わった気がします。
- Q 最後に、同僚や先輩の乗務員さんに対して、ひと言お願いします。
A 急いで事故を起こしたら元も子もないので、落ち着いて・あせらず・急がず・心にゆとりを持って、ハンドルを握ることが大切だと思います。これからも、お互いに事故なく、元気に仕事ができることを願っています。

直線道路では覚低走行に注意

単調な直線道路では視線を一点に固定しない

「覚低走行」とは、単調な直線道路で眠気もなく、目を開いているにも関わらず注意力が低下し、「見れども見えず、反応せず」という状態に陥ることを言います。こうした状態になると追突事故が起こりやすくなります。「覚低走行」は、視線が一点に固定することで起こると言われています。前後左右に注意を払い、少しでも「注意力が低下してきたな」と感じたら安全な場所で休憩し、リフレッシュしましょう。



事故を起こして「運が悪い」？

事故を起こし、「運が悪い」と言う人がいますが、果たしてそうでしょうか？違反や事故を繰り返す人達の多くは、「交通違反は捕まらなければいい。」「交通事故は起こさなければいい。」と考えているようです。そして、そういう人の多くは、事故を起こして、「運が悪かった」と思うようです。そんな考えの人達には反省もなく、同じ過ちの繰り返しが待っているのです。

ほとんどの事故は、ドライバー自身の安全意識や注意力を高めることで防ぐことができます。やることをやらないで「運が悪い」は、許されません。

悪いのは「運」ではなく「自身」ですから！！



編集後記

先月の「構内事故防止キャンペーン」期間中は、構内事故「0」を達成することができました。猛暑の中、皆様のご協力に心から感謝します。引き続き、構内事故を始めとする各種事故防止にご尽力いただきますようお願いいたします。

また、コロナ禍は感染拡大に歯止めがかからず、厳しい状況が続いておりますが、「感染しない・させない」をしっかりと意識した行動をお願いします。